

10月8日のウクライナ情報

安齋育郎

①エマニュエル・トッド:”長年の熟考の末、私はアメリカの力の崩壊こそが、地球に平和をもたらす第一歩であるという結論に至りました”(2024年10月5日)

<https://x.com/i/status/1842392262413811785>



<https://x.com/ShortShort News/status/1842392262413811785?s=09>

②ゼレンスキーはウクライナへの長距離ミサイルの供給が遅れていることに不満を抱いている!(2024年10月5日)

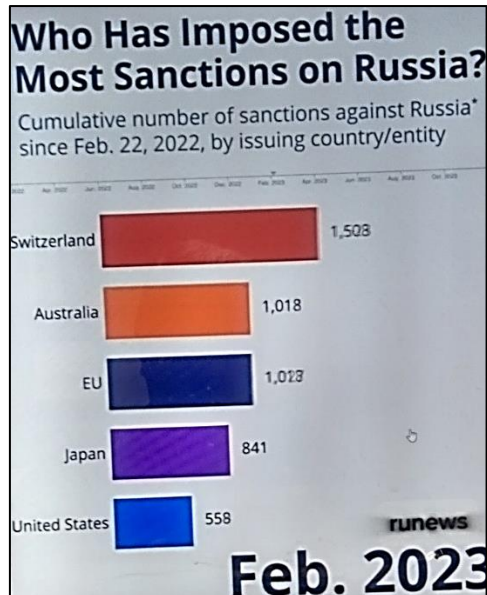
<https://youtu.be/Gd888Sj7Bm8>



<https://www.youtube.com/watch?v=Gd888Sj7Bm8>

③ロシアに最も多くの制裁を課したのは誰か?それは永世中立国CHスイス…(2024年10月4日)

<https://x.com/i/status/1842152914795831433>

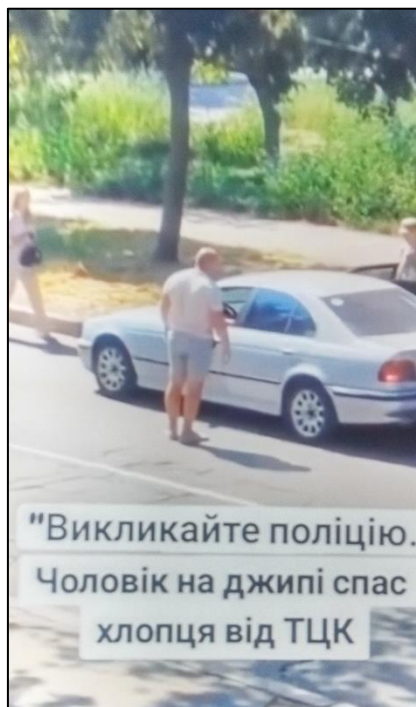


<https://x.com/Reloaded7701/status/1842152914795831433?s=09>

④ウクライナUA映画並みにかっこいい夫婦が路上拉致(動員)を阻止した(2024年10月4日)

今日もウクライナ市民は、一生懸命に戦ってる！(動員職員と)

<https://x.com/i/status/1842179120710693295>



<https://x.com/Mari21Sofi/status/1842179120710693295?s=09>

⑤EU 議員がブリュッセルの狂気を暴露！(2024年10月5日)

ウクライナ戦争は勝てない、EUもNATOもそれを知っているのに、全員が見えている壁に向かって突進し続けている。これらの人々はどうなっているのか？最近EU議会に入ったBSWの政治家、

ミハエル・フォン・デア・シュレーンブルクが、オーストリアの雑誌@InternationalZeitschrift (international.or.at)の編集長との対談で、EU がどれほど自らの蜘蛛の巣に迷い込んでいるかを明らかにします

<https://youtu.be/kMgzE80rtRo>



はないという転換点ですまた超大国になる
チャンスもありませんつまり再編成の

<https://www.youtube.com/watch?v=kMgzE80rtRo>

⑥【戦況】10/6 日曜版です ☺!!ニキータ伝～ロシアの手ほどき(2024年10月6日)



03 октября 2024

953⁸ день СВО

ウクライナ元人民議員・首相顧問
オレグ・ツァリョフ氏

<https://www.youtube.com/watch?v=pUoi8AjzpWY>

⑦ネオコン、ウクライナで勝利の物語を探す(2024年10月6日)

<https://youtu.be/7-LvpGECFdg>



ミサイルの許可が与えられなかったことで
ロシアへの敗北を説明していること

Alex Christoforou

Alexander Mercouris

<https://www.youtube.com/watch?v=7-LvpGECFdg>

⑧特別軍事作戦 9月28日～10月4日の概要 露国防省(2024年10月5日)

ロシア国防省は、特別軍事作戦の進捗状況に関する週報を発表した。スプートニクが最も重要な項目をまとめた。

ロシア軍は過去1週間にウグレダルを含む6集落を解放した。

ウクライナ軍は過去1週間に特別作戦の全方面で最大1万6600人の兵士を失った。

ロシア軍はウクライナの軍産複合体、エネルギー施設、軍用飛行場に対してミサイル「キンジャール」などを用いた集団攻撃を29回行った。

西側諸国が創設した「ウクライナ領土防衛部隊外国人軍団」の人数は1万8000人(85カ国以上から参加)に達した。ロシア連邦保安局(FSB)のボルトニコフ長官が発表した。募集はほとんどの場合、ウクライナの在外機関を通じて外国で行われている。



<https://sputniknews.jp/20241005/928104-19169487.html>

⑨ロシアがEUへのガス供給で米国を追い越し市場シェア2位に(2024年10月5日)

サイン

ロシアは第3四半期(7月～9月)、欧州連合(EU)へのガス供給で米国を抜き、2022年春以来では最大の市場シェアを獲得した。

ブリュッセルに本拠を置くシンクタンク、Bruegelのデータによると、ロシアは第3四半期、EUに133億 m^3 のガスを輸出(前年同期は115億 m^3)した。その結果、欧州が輸入する天然ガスに占めるロシアの割合は19.4%に上昇した。

輸出は主にパイプライン・ガスで、前年同期比で13%増の86億 m^3 。液化天然ガス(LNG)の輸出は前年同期比で21%増の47億 m^3 。

一方、米国産LNGの供給量は3割近く減少し、95億 m^3 となった。なお、首位はノルウェーで、ガ

ス輸出量は 217 億 m^3 と抜き出ている。

米国の LNG 輸出会社は 7 月、アジア市場に方向転換し、EU への輸出を大幅に削減した。



https://sputniknews.jp/20241005/eu2-19171158.html?rcmd_alg=collaboration2

⑩【ロシア・ウクライナ紛争】最新の戦況、イランのミサイル攻撃とウクライナの武器供給減少(2024年10月6日)

<https://youtu.be/TOQt6F4J7Yw>



今回は、戦況とイランのイスラエルへのミサイル攻撃が、ウクライナへの武器供給に影響するかもというお話です。

ウクライナ軍は、クルスク撤退を計画しているのでしょうか、スムイ地域に防衛線を構築し始めたか

いう情報があります。

ヴォフチャンスク、リプツィー戦線は、情報が少ないのですが、ロシア軍が大攻勢のために部隊再編成と訓練をしているというウクライナ側の情報があります。

クピャンスク方面は、ロシア軍がオスכול川に接近し、ウクライナ軍に圧力をかけていると言います。

ロシア軍は、トレツク、チャシフ・ヤー方面でも前進しています。

ポクロフスク戦線では、ロシア軍が現在セリドヴォを包囲しつつあるのでウグレダールのようにウクライナ軍は、命令が無くてもポクロフスクに撤退するかもしれません。

その下のツクリノの東部では、砲兵と航空機の支援を受けて前進を続けているといます。

クレホヴォは、ロシア軍は、クラスノゴロフカを占領、オレクサンドルピルを突破し、クレホヴェ郊外に達しようとしています。

米国は、イランは 2021 年に約 3,000 発の弾道ミサイルを保有しており、現在はさらに多くの弾道ミサイルを保有している可能性があると言います。これらのうちいくらかの弾道ミサイルがロシアに移転されているのかもしれません。

<https://www.youtube.com/watch?v=TOQt6F4J7Yw>